

2011年7月15日

報道関係各社 御中

一般社団法人日本機械学会

2011年度「機械遺産」7件が決まる！

日本機械学会は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」7件を選定し、8月7日「機械の日」に認定いたします。

機械遺産の認定は、2007年に日本機械学会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで43件を認定し、今年で5回目となります。応募・推薦があった候補の中から厳正なる審査の上、下記7件の認定を決定いたしました。

なお、認定表彰式は2011年8月6日(土)「機械の日・機械週間」記念行事(大阪科学技術センター8階)において行われます。

2011年度「機械遺産」認定一覧

- 第44号 青函連絡船及び可動橋 【青森県青森市/北海道函館市】
- 第45号 幹線用電気機関車 ED15形 【茨城県ひたちなか市】
- 第46号 岡谷蚕糸博物館の繰糸機群 【長野県岡谷市】
- 第47号 豊田式汽力織機 【愛知県名古屋市】
- 第48号 油圧ショベル UH03 【茨城県土浦市】
- 第49号 ファスナーチェーンマシン (YKK-CM6) 【富山県黒部市】
- 第50号 多能式自動券売機 【長野県佐久市】

【】内は遺産所在地

「機械遺産」について

日本機械学会は、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することで、文化遺産として大切に保存し、次世代に伝承するために本会110周年を記念して本事業を創立致しました。認定対象は原則として Site(歴史的景観を構成する機械遺産) Landmark(機械を含む象徴的な建造物・構造物) Collection(保存・収集された機械) Documents(歴史的意義のある機械関連文書類)の4分野の機械遺産。会員から応募・推薦のあった候補について、本会の技術と社会部門「機械遺産委員会」(委員長 池森寛)で選定・評価を行い、「機械遺産監修委員会」(委員長 長島昭)の総合評価を経て最終的に候補を絞り込み、理事会で承認されたものを「機械遺産」として認定表彰するものです。

これまでに認定された機械遺産の一覧等は、本会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/> をご覧下さい。

本ニュースリリースは解禁日時7月25日午前0時を必ず厳守ください

< ニュースリリースに関するお問い合わせ先 >

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
一般社団法人日本機械学会
学会運営部門 総務グループ 高橋・曽根原
電話 (03) 5360-3500 / FAX (03) 5360-3508
E-mail : sonehara@jsme.or.jp